

平成24年度東京モーニング トイヴォ・タサ大使あいさつ要旨

市長様、副市長様そしてこの場にお集まりの皆様、本日は朝から素晴らしいひと時をお過ごしかと存じます。エストニア共和国を代表いたしまして、皆様にお会いできることを光栄に思います。

佐久市は、世界最高健康都市の構築を重点施策に掲げ、また、市の文化振興にも積極的に取り組んでおられると伺っております。佐久市出身の方は、このような取り組みをする「ふるさと」を誇りに思っているでしょうし、私も、佐久市がこれらの目標を達成して更に発展していくことを確信しております。

皆様ご存知のように、エストニア共和国はヨーロッパの北西フィンランド湾に面した国で、距離的にはここからわずか8～9時間で行くことができます。地図で追っていきますと、日本もエストニアもロシアという共通の隣国がありますので、とても探しやすいかと思えます。

エストニアの人々は日本をよく知っており、また非常に尊敬しております。エストニアは日本の次に俳句作りの盛んな国のひとつと言われておりますし、また言語学者の松村一登さんによれば、両国の言葉には共通点もあるとの事です。当国出身の相撲力士に把瑠都関がいるのは皆様ご存知かと思いますが、彼が日本で故郷のように活躍できるのも、おそらくこうした背景があるからではないかと思っております。

また、エストニアのサク市とこちらの佐久市は、友好都市協定を結んで5年がたち、また、日本・エストニア親善協会も発足いたしました。両市は非常に良い関係にありまして、私は、エストニアのサク市を代表してこの場に來られたことを特に嬉しく思っております。

昨年は、サク市の代表団が佐久市を訪問し、また秋には、エネ・エルグマ国会議長が來日いたしました際に佐久市を訪れました。今年は、来月に佐久市の代表団がサク市を訪問するとお聞きしております。お互いに訪問し合うのはとても良い事ですし、本国から聞くところによりますと、エストニア側は、来月の受け入れにあたり大変中身の濃い計画を立てているようです。

この2つのサク市の取り組みは、日本・エストニアの友好を、特に地方自治体のレベルから深めるとも良いきっかけになると考えております。

最後になりますが、本日の報告会がご盛会になりますことと、お集まりの皆様方のこれからのご活躍をお祈り申し上げて私の挨拶にいたしたいと思えます。

ありがとうございました。